

# 令和2年度 事業報告書

公益社団法人 熊本県柔道整復師会

1. 熊本県知事等との協定に基づく柔道整復師の医療保険受領委任払制度の推進に関する事業（公1）
  - (1) 受領委任払制度の維持運営事業
    - A. 受領委任払制度を会員へ周知徹底し、適正な運用に務めるよう指導を行った。
    - B. 内部審査会の機能と効率性を高めるための環境を整備した。
    - C. 受領委任払制度の情報を取得するため九州ブロック会保険部会で情報交換を行った。
    - D. 協定に基づいて各保険行政や関係機関との連絡を密にし、保険取扱の円滑をはかった。
    - E. 熊本県柔道整復師療養費審査委員会及び熊本県国民健康保険等柔道整復療養費審査委員会の円滑な運営に協力した。
    - F. 柔道整復療養費に関する啓発活動（会員から県民への報告活動等）を行った。
    - G. 柔道整復療養費に関わる役員研修会を行った。
  - (2) 保険講習会の開催
    - A. 保険講習会を開催した。
    - B. 新入会員の保険取扱に関する講習会を開催した。
    - C. 日本損害保険協会との連絡を密にし、自賠責保険等に関わる保険取扱の円滑をはかった。
    - D. 保険講習会等の中で保険取扱説明後、市町村医療費助成制度等への参入を推進した。
2. 柔道整復師の資質の向上並びに柔道整復学及び柔道整復術の普及発展に関する事業（公2）
  - (1) 研修事業
    - A. 学術講習会を開催した。
    - B. 本県主催の学術講習会講演等の参加を奨励した。
  - (2) 調査研究事業
    - A. 日整学術大会、日本柔道整復接骨医学会提出論文を作成した。
    - B. 公益社団法人日本柔道整復師会の柔道整復学の発展に協力した。
    - C. 九州ブロック会学術部会に参加した。
    - D. 第29回日本柔道整復接骨医学会（東京都）（Web会議）に参加した。
    - E. 宮崎（延岡市）日本社会医療学会に参加した。

- F. 九州ブロック会機能訓練指導員講習会に積極的に参加した。
- G. 当会員を含む国民に対し健康管理の啓発を目的とする講座を開講した。  
(以下、県民公開講座とする)

(3) 広報・普及活動事業

- A. 生涯学習講習会を開催した。
- B. 県民公開講座の案内をホームページ・ポスター等で広く周知した。

3. 県民の健康の維持増進に関する事業（公3）

(1) 県民の心身の健全育成活動

- A. 日整全国少年柔道大会の選手選考を兼ねた本会主催の熊本県小学生学年別柔道大会の開催自体を中止した。

(2) 応急救護活動

① 災害時における応急救護活動

- A. 防災協定に基づき被災者支援への環境を整備した。
- B. 熊本地震復興の災害救護等の支援に協力した。
- C. 今後の災害に備え熊本地震の経験を糧に救護活動に必要な衛生材料の備蓄や会員向けに訓練を数多く実施した。
- D. 他県から災害に関して応援要請があった時に迅速に対応、または出動できるように準備した。

② スポーツ大会等への救護員の派遣

- A. 開催された県内の各種のスポーツ大会に対して協力した。
- B. 柔道整復術及び柔道を通じて地域住民の保健福祉に寄与した。
- C. 救護活動を行い、会員の参加をはかった。

4. 福利厚生に関する事業（他1）

(1) 顧問弁護士、顧問公認会計士、学識経験者等への相談

(2) 「会員の証」（ステッカー等）の配布

(3) 会員への表彰

(4) 相互扶助

- A. 会員の福祉のための事業を計画した。
- B. 職能型国民年金基金の加入に協力した。
- C. 賠償責任保険、生命保険、所得補償保険等の加入に協力した。
- D. 新年会・懇親会は新型コロナウイルスの影響で中止した。
- E. 熊柔会報を発行した。
- F. 日整広報に投稿した。
- G. 会員増加及び一般への周知の為、フェイスブックページを中心にホー

ムページ、案内パンフレット等の内容の充実をはかった。

H. 倫理審査委員会の設立による調査研究事業の向上と発展を目指した。

I. 県民公開講座の案内を広く周知した。

(5) 冠婚葬祭に関する祝い金、見舞金の支給

A. 会員の新築・結婚・出産に対して祝い金を送った。

B. 病気・災害等に対して見舞金を送った。

C. その他慶弔に関しては慶弔規程に則りこれを行った。

以 上